

天気も心も温かな「秋の遠足」

7日(金)には、空一面に広がる青空の下、三国ヶ丘の井ノ浦公園に遠足に行きました。6年生と1年生が手をつなぎ、他学年の皆さんも仲良く現地まで歩いて行きました。まず、公園の広場で全校みんなでの鬼ごっこ(しっぽ取り)です。全校児童が100名程度の本校ならではの、楽しい活動です。その後、お家の方が作ってくださったお弁当を美味しく味わい、それぞれで遊びました。クラスのお友だちと遊ぶ子もいれば、他学年の子と一緒に遊ぶ子もいます。帰りは、ちょっと疲れたけれど、そこでもお茶を分け合ったり、辛そうに歩いている友達の荷物を持ってあげたり、終始、お天気と同様に温かな雰囲気になった「秋の遠足」でした。



お知らせ

○児童表彰

【令和7年度小・中学生科学研究作品展】

【入賞】「蚕のために私ができること」 I・F さん(4年)

今村さんは、昨年も同作品展で入賞しています。今回の研究は、昨年に引き続き「育てている蚕」についての継続した研究です。飼育がとても難しい蚕を大事に育てていますが、死んでしまうこともあり、その原因を探る研究で、生き物(蚕)への愛情が伝わってくるものでした。入賞、おめでとうございます。

【令和7年度 北原白秋献詩(小学生の部)入賞者】

今年度の北原白秋献詩において、次の3名の皆さんが受賞しました。おめでとうございます！

【二席】「真夜中の三日月」 W・M さん(3年)

【二席】「ゆうゆうたるまいご」 N・K さん(2年)

【佳作】「となりあわせ」 D・K さん(6年)

作品紹介

○北原白秋献詩 受賞作品紹介

上記の「令和7年度 北原白秋献詩 小学生の部」において、受賞した3人の皆さんの中から「二席」を受賞したW・Mさんの作品を紹介します。

真夜中の三日月

三年 W・M

月の光がまぶしくて
私は目をさました
リンリンリン

すきとおる すぐ虫の音色
ほほをくすぐる 夏の夜の風

いつも閉じこめられたみたい
真つ暗な部屋にきかいの風だから
まるで別の空間にいるみたい

その時 ふと思ひ出した
せんそうのこと

もしも今 せんそうが起きたら

夏の風はほのおにそまる
すず虫も急ぎ

三日月の笑顔は
どこまで届かない

「お母さん」

ゆう気を出してお母さんを起こした
私をだきしめてくれる

お母さんの細い腕

もしも今 せんそうが起きたら

この温かみもなくなるかもしれない

80年前の今日

きつとこはやけ野原で

私と同じように

お母さんにだきしめてもらいたくて

お母さんをさがしてた人が
たくさんいて

今こうしている間も

せんそうやさいがい

大切な人をさがしている人が
たくさんいる

私の毎日は とても平和で

大好きな家族がいて 友だちがいて

たくさん遊べて 幸せで

毎日ねるのが もったいなくて

「早くねようね」って言われて

明日を楽しみにがんばってねてる

だけど

安心してねむれることこそ

「平和」で

明日を楽しみに生きるこそぞ

「幸せ」そのもの

私に教えてくれた お盆明けの三日月

これからの毎日で 私がすべきこと

誰か一人の「幸せ」は「幸せ」じゃない

世界中が「幸せ」だから

「平和」がそこに存在できる